



R6.9.6

令和6年度 朝日中学校 学校だより

朝のっこ

鶴岡市立朝日中学校

TEL:53-2092

Fax:53-2091

Mail⇒



「率先避難者たれ」

9/2 防災給食・避難訓練

9月2日に、防災給食と地震を想定した避難訓練を実施しました。

当初、避難訓練は9月4日に予定されていましたが、防災について考えるきっかけにしていきたい、という思いから防災給食が実施される9月2日に変更して行いました。

9月1日の「防災の日」は、1923年9月1日午前11時58分に発生した関東大震災をきっかけとして、1960年に内閣府によって制定されました。被害者数約10万5千人。そのうちの約9割が地震により発生した火災によって亡くなった経験を踏まえ、災害に備えるための意識をもとうという思いから定められたそうです。

生徒の皆さんに東日本大震災の記憶はないかもしれませんが、皆さんの中には2019年6月18日に発生した山形県沖地震のことは覚えている人がいるのではないのでしょうか。

この地震は22時22分に発生しました。朝日地域では、この地震による被害はほとんどなかったようですが、震源に近い温海地域では震度6弱を記録し、沿岸部では多くの住民の方が避難しました。

その時間、秋山はそろそろ寝ようかと布団に入った直後に揺れを感じました。揺れが収まるとともに、急いで着替えて被害状況の確認や安否確認等のため出勤したことを思い出します。

朝日中学校は、地震によって家屋が倒壊・延焼によって家に帰れない人が避難する「指定避難所」に指定されていて、最大793人を収容する想定になっています。そこで、昨年度末に、改めて学校に備蓄されているものを確認し、とても足りる量ではありませんが、可能な範囲で避難所を開設する必要があるときに差し当たって必要と思われる備品を購入しました。使うことがなければそれに越したことはありませんが、「万が一」への備えとして。

防災給食や避難訓練が、今後万が一本当に地震があった時、どんな行動をとらなければならないのか、を考えるきっかけになればいいな、と思います。災害はいつ起こるか分かりません。本当に災害にあった時、きっと避難訓練のように冷静ではいられないと思います。でも、万が一の時、何をすべきかを知っているのと知らないのとでは全然違うと思っています。自分の命を守る術を考えてほしい。そのうえで人を助ける力になってほしい、と思います。

かつて東日本大震災を教訓にまとめられた「津波避難の三原則」に関する講演を聞く機会がありました。朝日地域で津波を想定することは難しいと承知していますが、災害全般の避難に通じるものがあると思ったので紹介します。

【津波避難の三原則】

①想定にとらわれるな

②最善を尽くせ

③率先避難者たれ

東京大学大学院 片田先生



自分が率先避難者となることで、周りの人を助けることにつながる。非常時に被害拡大の要因とも関連する「正常性バイアス」「同調性バイアス」というキーワードとともに、この三原則を調べてくれるだけでも…と願います。

防災給食では、ライフラインが寸断された状態でもそのまま食べられるレトルトパックの「そのままご飯」、「野菜ジュース」、「えいようかん(羊羹)」が提供されました。食べるまでは

「子ども達にはこの量じゃ少ないかな」と思う反面、「災害時はきつと満足には食べられないからな…」とも思いながら生徒の反応を見て回りました。中には口に合わない生徒もいたようだったので、この状況については給食センターとも共有して今後の取り組みに活かしていけるようにしていきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。



数学 単元テスト

1年:9/12(木) 3年:9/12(木)

※単元テスト等の日程は、学校 HP でも随時お知らせしています。⇒



熱中症対策スクールバス利用期間が終了します。

熱中症対策として始業式から実施していたスクールバス対応が、今日をもちまして終了します。

この期間のみスクールバスを利用していた生徒の皆さんは、来週から自転車等での登校となります。ご注意ください。

最近、朝夕はだいぶ涼しくなりましたが、来週の予想最高気温はほとんどの日が30℃越えでしたので、まだまだ注意しなければならない日が続くと思います。先日配布された保健だより等を再度ご確認ください、水筒等のご準備を引き続きよろしくお願いいたします。